



(提供:三好)



大正琴・ベル・朗読劇団

ワン
ON E ♥ ハート

訪問ボランティア通信

2014年10月号
NO 158

本部 0467-79-1379
支部 046-231-3285

10月~11月の活動予定

- 10月12日(日) 綾瀬福祉まつり
綾瀬小ホール11:15 綾瀬ベル虹と
- 10月22日(日) 綾瀬綾西クラブ敬老会
綾瀬ベル夢
- 10月27日(月) 社協小園おしゃべりサロン
綾瀬ボイス公演
- 11月8日(土) 綾瀬吉岡敬老会
本郷荘:綾瀬ベル演奏
- 11月21日(金) ひばり小朗読公演
座間ボイス

本部より

11月23日(日) 13:00より綾瀬市文化会館において、綾瀬市生涯学習20周年記念フェスティバルが開催されます。当日は、隣の晩ごはんでおなじみのヨネスケさんが、楽しいお話を聞かせて下さいます。その後シンポジウムがあり、ヨネスケさん、地域の活動者が生涯学習についてディスカッションいたします。ワンハートも実践グループとして選ばれ、実践報告とともにシンポジウムにも参加いたします。入場無料ですので、どうぞ皆さんで足を運んで下さい。

*遅くなりましたが2013年度自主活動報告書が出来上がりました。皆さんの熱意溢れる活動に頭が下がる思いです。この報告書は市、福祉協議会などにも提出いたします。

秋の訪問 日程変更 アルプスの杜は11月9日(日)に変更になります。
内容変更 サンホーム鶴間は大正琴と海老名ベルの出演になります。

自主活動だより:座間琴・ハートフレンズの相武台ライブコンサート

梅雨の真ん中の6月30日(月)に相武台ライブへ訪問にまいりました。ホームは、新しく、そしてお元気の方が多く思われました。大正琴の楽器演奏を見るのは初めてという方がほとんどでした。「ドナウのさざなみ」「学生時代」「知床旅情」と三曲演奏。琴の音に耳を傾けて下さり大きな拍手を頂きました。次に「手のひらに太陽を」の体操そして「炭坑節」では、昔を思い出されたようで、うなずきながら歌ったり、掘って、掘って、又掘って〜と踊って下さったり大いに盛り上がりました。続いて「富士の山」は会場のみinnで合唱。梅雨空を跳ね返すように晴れ晴れとしたお顔に見受けられました。最後は、「無法松の一生」を元気一杯弾かせて頂き、楽しかった出会いの時間はあっという間に終わりました。後日スタッフの方から「こんなに楽しい事してくれるのね」「また来てくれるよね」とご入居の方々からお声があったとか。皆さんに喜びと感動が与えられたかなあと嬉しく思いました。(文:石川富子)



メンバー五人の息の合ったステージ模様



素敵な琴の音色がきこえてくるようです

8月27日ニチイケアセンター綾瀬に行ってきました。今年の夏は、猛暑やところによっては豪雨が続き、大きな災害に見舞われ大変な夏になってしまいました。そのような時期でもあり、ニチイの方々もさぞやバテ気味ではないかと思いきやとてもお元気なので驚きました。もともと歌の上手な方が多いという話は、私たちの間では定評でした。当日は職員の方に参加して貰ったり、体操したり、最後まで歌える曲で盛り上がり、元気な声に後押しされ、実力以上のエネルギーを出す事ができ、楽しく演奏させて頂きました。(文:松下ミヤコ)

自主活動だより: 座間ボイス・四つ葉のクローバー

自主活動で最初に栗原ホームを訪れたのは2009年ですから、今年で6年目になります。原則3ヶ月に1回のペースで、訪問する側もされる側も楽しい時間を共有できるようにと毎回プログラムを考えています。朗読劇はスクリーン・音楽・マイク無しですので、内容をわかって頂けるよう、身振り手振りに時にはアドリブで状況説明を入れたりもします。紙芝居も欠かせません。民話を主に馴染みやすい作品を選びますが、紙芝居は、一人でナレーションに複数の人物を演じなければならないととても勉強になります。声が、広い会場の隅まで届くようこの時はマイクをお借りしますが、デイの皆さんは、時には話に傾きながら、静かにステージに顔を向けていて下さいます。今回は、「座間の番神水」紙芝居「安珍清姫物語」をご披露しました。この後は「うた」を主に進めますが、皆さん、本当に歌がお好きですね!今回は初めての試みで「ほたる」を合唱して頂きました。「ほーほーほたる来い、、、」はお馴染みですが、「ほたる来い、山から来い、、」は??ですね。歌詞もメロディも異なるこの2曲を同時に歌ってもらうのです。後者は皆さんご存知ないようでしたが、歌詞を用意し、メロディをピアノで2、3回弾くと、短いのですぐに覚えてしまい、メンバーの一ノ瀬さんの絶妙なりードで、少し練習しただけで、コーラスの始まりです。会場の方をA・Bと二つに分け、「ほーほー」をA「ほたる来い」をBで見事に成功、次はパートを代えてこれまた素晴らしいハーモニーでした。おしまいもピタッと決まり、職員の方も拍手喝采!あとは皆さんよく知っている歌を2~3曲一緒に歌い、和やかなひと時を過ごしました。ボイスの場合は、プログラムの構成に苦労しますが、皆さんの笑顔で帳消し。今回は10月をお約束してきました。



座間ボイスの朗読に耳を傾けていらっしゃいますね

<秋の定例訪問コンサート>

ONEハートの活動は、色々ありますが、春と秋に実施する訪問コンサートは、全体活動として最も主要な活動です。入会して約1年後には、演奏で参加することを原則としています。コンサートでは、見学者も一体となって活動します。

コンサート当日の進行状況	
会場集合	集合: 演奏者30分前 見学者15分前(準備状況から見て下さい) 机、イス用意。楽器準備など *訪問コンサートは、現地集合、解散が原則です。
コンサート(約50分)	演奏者は、にこやかに演奏。見学者は、先方の方への歌詞掲示手伝いのほか、体操、ゲームなどに参加します。内容は音楽療法的プログラムです。
コンサート終了	かたづけ後、すぐ解散の会場が多いです。茶菓の接待を頂く会場もあります。状況はお知らせ致します。

- 持ち物 (大正琴) 大正琴。楽譜。室内ばき。
(ベル) 楽器類、楽譜、譜面立て、袋、オレンジの台紙、室内ばき
(朗読) 台本、室内ばき
- 衣装 出演者も見学者も着用します。
上 オレンジ。下は白っぽいもの。無地の衣装にワンハートバッチをつけること

<文: 石川宏子>